大規模地震に備え水質事故対応訓練

独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所では、２月２８日（金）に水質事故対応訓練を実施します。この訓練は、大規模地震が発生した場合などに備え、常日頃の防災に対する意識の向上と危機的な状況への対応能力の強化を図ることを目的としています。

報道機関の方の取材をお待ちしています。

平成26年2月25日

独立行政法人　水資源機構
琵琶湖開発総合管理所

発表報道機関
滋賀県報道機関

問い合わせ先
独立行政法人　水資源機構　琵琶湖開発総合管理所　総務課長　大西 住　所:大津市堅田2-1-10 電　話:077(574)0680 http://www.water.go.jp/kansai/biwako/index.html

水質事故対応訓練の内容

１．実施日時

平成２６年２月２８日（金）　１３：３０　～　１６：３０

２．実施場所

津田江排水機場（草津市下寺町）　＜下図を参照願います＞

図　津田江排水機場位置図

※ 津田江排水機場の場所については、当管理所ホームページも併せてご覧ください。

琵琶湖開発総合管理所ホームページ　管理施設一覧（ホームページ最下段）
http://www.water.go.jp/kansai/biwako/html/facilities/

３．参加人員

水資源機構職員　約２０人

４．実施内容

地震により、津田江排水機場の地下タンクが被災し、周辺水面にポンプ駆動用の燃料であるＡ重油が流出したとの想定で、オイルフェンスの設置訓練などを実施します。具体的には、次のとおりです。

（１）床上操作式クレーンの操作訓練（１３：４０頃）
（２）操船訓練（１４：１０頃）
（３）オイルフェンスの設置訓練（１５：００頃）

写真１　オイルフェンス設置訓練
（イメージ）

５．その他

訓練当日に降雨などにより、訓練の実施が困難な場合は中止となります。予めご了承ください。

＜参考：津田江排水機場とは？＞

琵琶湖周辺の浸水被害を軽減するために設置された排水ポンプ場です。詳しくは当管理所のホームページをご覧ください。ポンプはエンジン駆動であり、その燃料として、常時４，０００リットルのＡ重油を貯蔵しています。

琵琶湖開発総合管理所ホームページ － 管理所の仕事 － 洪水時・渇水時の施設の操作
http://www.water.go.jp/kansai/biwako/html/works/works_05.html